



町政を問う
一般質問

『森林整備促進協力金』(仮称)で森林整備を

町長 ⇒ 森林環境譲与税で森林整備を進める

問 本町の92%が山林でありながら林業整備事業が進まない原因をどのように分析していますか。

町長 木材価格の低迷と世代交代などによる森林所有者の森林への関心の薄れが最大の要因です。

問 小規模の山林所有者に対し「森林整備促進協力金」(仮称)を支払うことで所有権、管理権を意欲ある林業経営者などに移行し、大規模化を促進し森林整備を加速しては。

町長 本町の私有林人工林は分散的に存在しており、集積するのは難しい状況です。国・県の既存の森林整備補助金や森林環境

譲与税を活用した町独自の搬出間伐促進の事業を創設しました。まずは、現在実施している森林整備を進めていきます。

『環境整備協力金』(仮称)で安心安全な生活環境を
町長 ↓ 厳しい財政状況で考えていない

問 大きくなり過ぎた立木や山林が太陽光をさえぎり、付近の住宅や町道が長時間日陰になっている状況が見受けられます。

町長 提案は、日陰問題や危険箇所解消には効果的な取り組みと考えますが、そのための財源確保は難しく、現時点では協力金制度を設けることは考えていません。

そこで「環境整備協力金」(仮称)を創設し、安心安全の為に協力して頂いた感謝の協力金を立木の所有者に交付し、その立木を伐採し

『南会津町ドローン班』(仮称)による災害対応の近代化を
町長 ↓ 今後の検討課題

問 「南会津町ドローン班」(仮称)を結成し行政、消防、ドローン導入の個人・企業の3者による災害時、緊急時の連絡体制、定期的訓練を実施しては。

町長 今後の検討課題とします。



町内の航空写真：住宅地近くの人工林